日本科学哲学会

第58回(2025年)大会

期日:11月29日(土)・11月30日(日)

場所:中央大学 多摩キャンパス FOREST GATEWAY CHUO 大会参加費:無料(非会員の方でもご参加いただけます) 所在地:〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

今回の大会会場ではeduroamが利用可能です。ご利用にあたっては事前に所属機関でIDやパスワードを発行してもらう必要がある場合がありますので、ご利用される方は所属機関にてご確認・ご準備をお願いいたします。

11月29日 (土)

研究発表 (10:00-12:00)

《A会場 (F405) 》 (10:00-12:00)

司会:1-2 二瓶 真理子(岩手大学)、3-4 大西勇喜謙(総合研究大学院大学)

- 1. 大西 勇喜謙 (総合研究大学院大学)・・・・序文のパラドックスと悲観的帰納法
- 2. 岸 哲生(大阪大学)・・・思いつかれていない代替理論と認識的正当化
- 3. 大塚 淳 (ZEN大学) ・林祐輔 (AIアライメントネットワーク) ・谷口忠大(京都大学) ・・・集合的予測符 号化仮説によるパラダイム論のモデリング
- 4. 岡田 心 (大阪大学・CiNet)・・・人間の心を説明するモデルのintelligibilityの形成に関わる固有性の情報

《B会場 (F408) 》 (10:00-12:00)

司会:1-2 調整中、3-4 植原 亮 (東京大学)

- 1. 菊池 聡 (千葉大学)・・・ガレス・エヴァンズの非概念主義と所与の神話
- 2. Kotoha Li (慶應義塾大学) · · · Settling Questions Without Assurance
- 3. 井上颯樹(千葉大学)・丸山望実(九州大学)・・・方法知と命題知について
- 4. 谷川綜太郎 (千葉大学) ・・・打ち負かし (Swamping) 問題と信頼性主義

《C会場 (F410) 》 (10:00-12:00)

司会:1-2 西條 玲奈(東京電機大学)、3-4 米倉 悠平(茨城大学)

- 1. 臼杵靖剛(北海道大学)・・・根源的生命倫理の存在論的時間論
- 2. 河村菜那(北海道大学)・竹下昌志(名古屋大学)・・・メンヘラで何が悪いの?:自殺排除主義への当事者的抵抗
- 3. 高原 亮 (慶應義塾大学)・・・バーナード・ウィリアムズと厚い概念 ~厚い概念に基づいた道徳哲学の転 回~
- 4. 吉澤ひふみ(北海道大学)・・・医療過誤と言語哲学:確定記述が含まれる口頭指示の分析

《D会場 (F504) 》 (10:00-12:00)

司会:1-2 調整中、3-4 伊藤 遼(早稲田大学)

- 1. 鈴木 聡 (駒澤大学) ・・・On Multidimensional Predicates: Social-Choice Model Versus Additive-Difference Model
- 2. 野上志学(三重大学)・・・複側面的体系のコミットメント意味論
- 3. 近藤雅熙 (千葉大学)・飯田峻斗 (千葉大学)・・・AELにおける「論理」とは何を意味するのか: 論理的多元主義との整合性を中心として
- 4. 北園 純也 (専修大学) ・・・探求の論理による義務論理の再構築

理事会·評議員会·企画委員会 (12:05-13:30) 《委員会会場 (F404) 》

総会〔石本賞授与式〕 (13:35-14:15) 《FOREST GATEWAY建物 3階HALL》

シンポジウム (14:20-16:50) 《FOREST GATEWAY建物 3階HALL》

「科学哲学と公共政策」

オーガナイザー:伊勢田 哲治(京都大学)

提題者: 祐野恵(京都大学)、杉谷和哉・清水雄也(岩手県立大学、京都大学)、

清水右郷・野内玲(宮崎大学、広島大学) 特定質問者:松王政浩(北海道大学)、松井隆明(東京大学)

特別講演 (16:55-17:55) 《FOREST GATEWAY建物 3階HALL》

「経済学のどこが哲学的に面白いのか?」

講演者:瀧澤 和弘(中央大学)司会:鈴木 貴之(東京大学)

情報交換会 (懇親会) (18:00-19:00) 《F507》

参加費:なし

11月30日(日)

研究発表 (9:30-12:00)

《A会場 (F405) 》 (9:30-12:00)

司会:1-3 調整中、4-5 清水 右郷 (宮崎大学)

- 1. 三富 照久(日本大学櫻丘高校)・・・ニュートンは最後の魔術師か?~科学史と疑似科学の関係を再考するか~
- 2. 佐藤 直人(北陸先端科学技術大学院大学)・・・化学は量子力学に還元できるか?――「分子構造論」を例に考える
- 3. 佐藤 公亮(北海道大学)・・・細胞生物学における非決定論的アプローチの有効性
- 4. 平田 詩織(北海道大学)・・・ヒル基準の再解釈――集団と個人の因果性をめぐる疫学と哲学
- 5. 佐藤 達之(北海道大学)・・・臨床医学研究と基礎医学研究における方法論の違いと価値の役割

《B会場 (F408) 》 (10:00-12:00)

司会:1-2 柏端 達也 (慶應義塾大学) 、3-4 鴻 浩介 (東京大学)

- 1. 稲荷森 輝一(広島大学)・駒田珠希(北海道大学)・宮園健吾(北海道大学)・・・記憶と道徳性:エピソード記憶帰属におけるノーブ効果の検証
- 2. 佐々木 健人 (無所属)・・・有感性主義と現象的概念
- 3. 佐藤 広大 (筑波大学)・・・行為者性の感覚
- 4. 篠崎 大河 (慶應義塾大学)・・・日常言語に現象的意識を指す語はあるか: コーパスと大規模言語モデルを 用いた実験哲学の拡張

《C会場 (F410) 》 (9:30-12:00)

司会:1-3 和泉 悠(南山大学)、4-5 藤川 直也(東京大学)

- 1. 山口 富士夫(早稲田大学)・・・4次元問題としての普遍論争
- 2. 水谷 亮介 (九州大学) ・・・認識様相の表出主義と義務様相の表出主義
- 3. 明日 誠一 (青山学院大学) ・・・You must be over 18 to drink alcohol. —選択課題でnot Qの選択を促進する要因を英語学から再考する—
- 4. 阿部裕彦 (無所属)・・・会話の格率の認識的側面
- 5. 豊岡 正庸 (東北大学・日本学術振興会)・・・循環を回避する構成的含意の解釈について

《D会場 (F504) 》 (9:30-12:00)

司会:1-3 浅野 将秀(神戸大学)、4-5 山田 圭一(千葉大学)

- 1. 林 晃紀 (慶應義塾大学)・・・文法と治療的哲学
- 2. 山形 賴之(福井大学)・・・意味生成と写像形式---論理哲学論考における「見る能力」
- 3. 丸田 健(奈良大学)・・・『茶色本』研究 〈序〉
- 4. 白木 啓吾 (中央大学) ・・・ヴィトゲンシュタインは規則をどのように論じたか ——言語とゲームのアナロジー——
- 5. 岡本 賢吾 (東京都立大学)・・・規則のパラドクス、あるいは関数適用の明示化不能性の問題 : Frege、Wi

理事会 • 編集委員会 • 企画委員会 (12:05-13:05) 《委員会会場 (F404)》

研究発表 (13:15-14:15)

《A会場 (F405) 》 (13:15-14:15)

司会:1-2 久木田 水生(名古屋大学)

- 1. 清水 颯 (北海道大学)・宮原 克典 (北海道大学)・・・デジタル複製と意思の尊重をめぐる倫理的ジレンマ
- 2. 小関 健太郎(東京大学・日本学術振興会)・・・情動の志向性とフィクションの対象: 実在論的理論の擁護

《B会場 (F408)》 (13:15-14:15)

司会:1-2 伊勢田哲治(京都大学)

- 1. 横田 宏信(出る杭の杜)・・・本質とは何か? どこにあるのか?
- 2. 太田 隆 (文芸経済研究所)・・・系統法の研究

《C会場 (F410) 》 (13:15-14:15)

司会:1-2 鈴木 貴之 (東京大学)

- 1. 車田 研一(福島工業高等専門学校)・・・<伝承>と<伝承館>をめぐる認識論
- 2. 永山 智一(埼玉大学)・・・生体反応としての精神現象と事実の関係について

《D会場 (F504) 》 (13:15-14:15)

司会:1-2 調整中

- 1. 須釜 正行(在野研究者)・・・存在波理論が示す科学哲学的転換:数学的成功から物理的理解へ
- 2. 今井 慶悟(京都大学)・・・基礎物理科学における出来事存在論の意義とその批判的検討

ワークショップ (14:30-16:45)

《A会場 (F405) 》 (14:30-16:45)

I. 「自由意志・道徳的責任・応報論」

オーガナイザー: 塩野 直之(東邦大学)

提題者:木島泰三(法政大学)、李太喜(東京大学)、塩野 直之(東邦大学)

《B会場 (F408) 》 (14:30-16:45)

II. 「命題的内容について自然主義者であるとはどういうことか」

オーガナイザー:藤川 直也(東京大学)

提題者:伊藤 謙佑(同志社大学)、浅利 みなと(東京都立大学)、道田 蒼人(京都大学)、 榎本 啄杜(大阪大学)

《C会場 (F410) 》 (14:30-16:45)

III. 「AIテクノロジーと人生の意味」

オーガナイザー: 蔵田 伸雄(創価大学)

提題者: 蔵田 伸雄(創価大学)、久木 田水生(名古屋大学)、長門 裕介(大阪大学)

《D会場 (F504) 》 (14:30-16:45)

IV. 「意識の倫理学の最前線:ジョナサン・バーチ『有感性の辺縁』を巡る諸問題の検討」

オーガナイザー: 竹下 昌志 (名古屋大学)

提題者: 竹下 昌志(名古屋大学)、篠崎 大河(慶應義塾大学)、鈴木 大地(筑波大学)、 太田 紘史(筑波大学)

《E会場 (F507) 》 (14:30-16:45)

V. 「『分析形而上学の最前線』×『一元論の多様な展開』合同WS」

オーガナイザー:大畑 浩志 (大阪公立大学)

提題者: 真田 美沙 (名古屋大学)、高取 正大 (慶應義塾大学)、立花 達也 (金沢工業大学)、 米田 翼・大畑 浩志 (大阪大学・大阪公立大学)

※センシティブな内容を含む発表もございますので、要旨をお読みの上判断いただき、ご参加いただきますようお願いします。